

## 順心女子学園 中学校・高等学校

### 帰国生には最高の環境と条件

校長補佐 小山 和智

順心女子学園では、来春「特進コース」を開設するのに伴い、海外入試を開始します。  
このシリーズでは毎回、“隠れた人気校”の素顔をご紹介します。

#### ● 都心の一等地にある好条件

首都圏で女性に「住んでみたい街」を聞くと、一番人気は「広尾駅周辺」です。

渋谷や六本木の繁華街からも少し離れた最高級住宅街なのです。

その“広尾駅前”にある順心女子学園は、首都圏全域から通学できる交通便の良さと、外資系企業の駐在員家族が多く住む（セキュリティ・レベルが高い）安全な環境に恵まれています。

徒歩 20 分以内に 34 カ国の大使館、国際学校（international schools）も数校あり、まさに“国際村”です。都立中央図書館や海外青年協力隊本部、日赤医療センターなどもすぐ近くにあるので、国際理解教育や総合的な学習にも適しています。「学力の伸び率では“都内一”」の理由の一つです。

#### ● 帰国生受け入れの伝統校

1918 年創立の順心女子学園は、多くの自立できる女性を育て、社会に送り出してきました。女性が本来もっている柔軟性と想像力を伸ばし、主体性を育む営みは、海外育ちの生徒たちも自然に受け入れる伝統とともに、しっかり根づいています。

1973 年、高校では初めて文部省（当時）から帰国子女教育研究協力校に指定されました。それから 30 年あまり、「帰国生の学力を最も伸ばせる学校」を目指して、努力を重ねてきています。

とくに、帰国生を「国際学級」のような“隔離病棟”に閉じ込めないで、最初から普通学級に温かく迎え入れる方式は、他校の“混入方式”とも格段に異なる教育効果を生んでいます。まるで高速道路に入っていく助走路のように、円滑に“Main Stream”に入っていけるよう工夫されていますし、在校生には、そっと“居場所”を空けられる優しさがあるので

もちろん、国内育ちの生徒が「英語」を学んでいる間（週 6～7 時間）は、現地校や国際学校の出身者はネイティブ教員による特別指導を受けていますし、日本語特別指導（J S L）もあります。また、個々の生徒の抱えている“課題”には、必要な補習も行います。「入学時の満足度 100%、卒業時の満足度 200%」を目指して、個別指導を徹底しているのです。



順心女子学園 中学校・高等学校  
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-1-14  
TEL. 03(3444)7271 FAX. 03(3444)7192  
www.junshin.ac.jp